

2024年8月30日

報道機関各位

関西学院大学体育会アメリカンフットボール部

部長 池埜 聡

監督 大村 和輝

ディレクター 小野 宏

日本アメリカンフットボール協会による
本学U20代表選手への処分に関する報告

本日、日本アメリカンフットボール協会（以下、日本協会）より、本学選出のU20日本代表選手5人に対し、以下の処分が発表されました。

- ・選手1人に対し、日本代表資格無期限停止
- ・選手1人に対し、嚴重注意、日本代表資格停止2年間
- ・選手3人に対し、嚴重注意、日本代表資格停止1年間

また、弊部に対して以下の勧告がありました。

- ・選手1人の無期限活動停止
- ・選手1人の試合出場停止6か月間

弊部として、本学選出の代表選手5人が上記の処分を受けたこと、部に対して2人に関する上記の勧告を受けたことについて、大変重く受け止めております。また、本件によって日本代表チーム並びに関係の皆様には大きな混乱を招きましたこと、日本協会の皆様には調査等の膨大な労力をおかけしたこと、深くお詫び申し上げます。報道機関の皆様にはこれまでの経緯と部としての対応、今後の方針等について以下にご説明し、ご質問にお答えいたします。

1. 経緯

- ・ アメリカンフットボールのU20（20歳以下）世界選手権が6月22～30日（現地時間）、カナダ・エドモントンで開催され、本学から選手10人が日本代表チームに選出されて大会に参加しました。
- ・ 日本代表チームが7月2日（日本時間）に帰国した翌日に、本学の参加選手が大麻を使用したのではないかとの情報が部に提供され、部として慎重かつ主体的に調査を行ってまいりました。（情報源については、秘匿を前提に提供されていますので伏せさせていただきます）
- ・ 7月3日以降、疑いがあるとされた選手5人には複数回の聞き取りを行うとともに、それ以外の本学選出代表選手・スタッフへの聞き取りも実施しました。当該選手たちはいずれも大麻使用を否定しましたので、本人らの承諾を得て検査キットによる尿検査を7月5日に実施しました。大村監督とアシスタントディレクター（以下、

AD)に加え、部と直接利害関係のない本学職員の立ち合いのもと、採取の際にADが斜め横に立って不正を監視し、コップを受け取って3人で結果を確認する厳格なプロセスを進めた結果、全員が陰性でした。この時点で、カナダでの大麻使用はなかったと判断しました。

- ・その後、日本代表チームを所管する日本協会にも同様の情報提供があり、同協会として7月8日に調査が開始された旨の連絡がありました。日本協会から、日本代表チームの選手・スタッフ全員にアンケートを行い、それに基づいて聞き取り調査を行ったうえで、疑いがある本学選手5人に対し分析機器を用いた毛髪検査を受検するよう要請がありました。
- ・対象選手5人のうち3人は8月1日に日本協会の管理の下、検査専門機関で毛髪検査を受検し、8月13日に検査結果が陰性であった旨の連絡を日本協会から受けました。3人は部の指示によって7月3日から練習への参加を暫定的に停止していましたが、8月14日から練習への復帰に向けたプロセスに入りました。
- ・残り2人は、日本協会による毛髪検査について、期限となっていた8月10日までに承諾の意思表示をしませんでした。部としては、本学から日本代表チームに選出された選手として、日本協会の要請（毛髪検査の受検）に適時に従わなかったことは重大なことと考え、「無期限活動停止」の処分を決め、13日に本人に伝えました。その後、8月14日に1人は受検する旨を日本協会に申し出て受検を認めていただき、日本協会の管理下で19日に検体を採取しました。28日に結果が判明し、陰性でした。
- ・こうした部による調査の過程で、当該の5人には、カナダでの大会期間中に、疑義を生じるような紛らわしい行為があったことも判明しました。日本代表チームは部と同様、禁煙がルールとなっていますが、vape(水蒸気を用いた電子たばこの一種)を現地で購入したり、購入に付き添ったり、使用した者がいました。ただし、この2人が使用したものは果実フレーバーのものと証言しています。他国選手からウイニングシガーとしてたばこ状のものを譲り受け、使用せず部屋に保管していた例もありました。
- ・ある選手は、大麻使用を疑った他の選手が代表監督に伝えようとしていたのを止めるような発言、他の選手がvape等を撮影した写真・動画を消すように依頼したことから、周囲に誤解や憶測を生じた可能性があります。

2. 日本協会の発表を受けての各選手への対応

部は、現時点で日本協会から処分の概要は伝えられていますが、処分理由の詳細については正式な説明を受けておりません。今後、文書等で説明をいただく状況です。それを前提として、現時点で以下の対応をしております。

- ・日本協会より日本代表資格無期限停止の処分、無期限活動停止の勧告を受けた選手

に対しては、毛髪検査を受検しておらず、部としてすでに出している「無期限活動停止」の処分を今後も継続いたします。

- ・ 日本協会より嚴重注意、日本代表資格停止 2 年間の処分、試合出場停止 6 か月間の勧告を受けた選手に対しては、日本協会から処分理由の根拠を含めた資料をいただいてから部としての対応を改めて検討いたします。対応を決めるまでは選手 1 人の活動停止を継続いたします。
- ・ 日本協会より嚴重注意、日本代表資格停止 1 年間の処分を受けた 3 人に対しては、日本協会から処分理由の根拠を含めた資料をいただいてから改めて検討いたします。対応決定までは 3 人の活動を一時的に停止いたします。

3. 毛髪検査を受検しなかった理由

毛髪検査を承諾しなかった選手に対しては、部として繰り返し受検を強く要請しました。本人は承諾しない理由として以下を挙げています。

- ・ U-20 日本代表の選手やその保護者からの本人ら 5 人がほぼ大麻を吸っていると決めつけるような言動があったこと。
- ・ U-20 大会遠征中、他の選手に本人の部屋に大麻があるという証拠もない噂を立てられ、無断で部屋の中に入って来られ、自分の荷物の中身を無断で調べられたこと。
- ・ 日本協会による、関西学院大学の代表選手以外の部員に対するヒアリングで、全く関係のない彼らに対し威圧的な態度で面接が行われたこと。

4. 大麻等違法薬物に関する部内調査および尿検査の実施

部は、これまでも部員に対して違法薬物について講習会等で危険性を説明してきましたが¹、これを機に改めて部内に大麻等の所持・使用が起きていないかの確認を行いました。

8 月 14 日、合宿参加部員を対象に、大麻等の所持・使用について伝聞を含めて情報提供を募りました（記名式、内容閲覧は部長、ディレクター、AD、弁護士の 4 人に限定）。情報提供に基づいて、2 人に対面調査を行いました。いずれも U20 代表選手の件に関する伝聞情報で新たな調査の必要性はないと判断しました。

また、合宿参加の部員 168 人のうち、体調不良の女子部員 2 人を除く 166 人に同意を得て尿検査を実施しました。不正防止の観点からチームドクターが採取に立ち合い（男子のみ）、検査結果は監督、コーチ、AD、本人で確認し、マネージャーが写真・動画を撮影し、保存してあります。結果は受検者 166 人全員が陰性でした（部員総数は

¹ 2024 年に入ってから、定例の安全対策講習会（3 月）、外部コンサルタントによるコンプライアンス講習会（4 月）、米国遠征（南オレゴン大戦）の事前説明（4 月）で違法薬物に関する説明をしています。

185人で、院内高校・中学等のコーチ、負傷等による合宿不参加者、疑いのあった5人、女性部員2人等未受検者は順次実施しています)。

5. 違法薬物への啓発活動の強化

今回の件を踏まえ、部として、指導者・部員とも違法薬物への認識を一層深める機会を設け、継続的に実施していきます。実際に所持・使用をしないことは当然として、疑義が生じることで、アメリカンフットボールという競技の社会的な評価を下げ、スポーツのもつ多様な価値を毀損することや本人の人生や部の活動に非常に大きな影響が出ることをよく理解し、疑いをかけられるような紛らわしい行為・言動自体も避けるように強く警鐘を鳴らしたいと考えております。

6. 報道機関の皆様へのお願い

部として、選手1人に対して「無期限活動停止」の処分を行っていますが、理由は前述したとおり、日本協会の毛髪検査を受けなかったことによるものであり、大麻所持・使用の事実認定によるものではありません。本学は厳格なプロセスで帰国後4日目(7月5日)に尿検査を行い、当該選手は陰性と判定されており、その他、使用の事実を認定するにたる有力な証拠を把握しておりません。この点は、現時点において日本協会の発表内容とは見解の相違があります。ネット掲示板等で伝聞や憶測、思い込みに基づいた情報がすでに散見されており、これらは本人に対するプライバシーや名誉権の侵害に当たると考えます。報道に際しましてもぜひ十分なお配慮をお願いいたします。

7. 秋季リーグ戦について

部は、本件を覚知してからも活動は続けており、日本協会の発表後も活動予定は変更せず、関西学生連盟の秋季リーグ戦開幕に向けて全力で準備を進めてまいります。引き続きご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

以上

※なお、本文書は、報道発表資料を個人の特定を避けるために一部修正したものです。